



SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社ひらやま

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・原材料に配慮し、ダイオキシンや二酸化炭素の発生を抑制する緩衝剤ケースを製造している。 ・梱包に使用するビニールは、生分解性プラスチックに変更している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所内の照明はLED照明を設置することで省電力化を図っている。 ・太陽光発電を設置し、再生可能エネルギーを積極的に利用している。 ・陸上養殖システムを利用した小水力発電に取り組んでいる。 ・【予定】2024年4月簡易計算シート等を用いて自社のエネルギー使用量を把握する。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・太陽光発電、小水力発電等の再生可能エネルギーの利用により温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる。 ・温度調整用の農業機械を開発し、暖房コスト等の削減に貢献している。 ・【予定】2024年4月簡易計算シート等を用いて自社の温室効果ガスの排出量を把握する。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4		13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・自社で開発、推進を行っている陸上養殖システムは、通常の養殖業と比較して排水や廃棄物による水質汚染等、環境への悪影響を低減することが可能である。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・製造業において、リサイクル可能なクールボックスの開発に取り組んでいる。 ・段ボール製品の製造段階で発生する端材は、積極的に再使用している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・陸上養殖システムによる排水は、水質管理を徹底した上で田畑に放流することで、水資源を循環させている。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事務所内のグリーン購入を促進している。 ・閉鎖循環式陸上養殖システムの開発・展開に取り組んでいる。 ・生分解性プラスチックを開発・利用している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・アクアポニックスは可食部位のみを出荷することで消費者による食品ロスを低減している。		1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・陸上養殖を利用したアクアポニックスにより、積極的に緑を創出している。 ・事務所周辺に木や花を植えることで、緑の創出に貢献している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・陸上養殖システムを利用した小水力発電や太陽光発電等の再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・生分解性プラスチックを開発・利用しており、海洋汚染の防止削減に貢献している。														12.2 12.5		14			
35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車に電気自動車を導入することで、環境に配慮した事業運営を実践している。											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.17		

